

ハイド・ストリート・ピアの歴史的船舶

ハイド・ストリート・ピア（ハイド通り埠頭）は、1922年、サンフランシスコとサウサリート間の行き来する自動車フェリーのために建造されたものです。フェリーの路線は、ゴールデンゲート・ブリッジが1937年に開通するまでは、高速道路101号線の一部と考えられていました。

今日、この埠頭、そしてそこに停泊する数々の歴史的船舶は、一般公開されています。アルマ号、バルクルーサ号、ユリーカ号、ハーキュリーズ号、C.A.セイヤー号の5隻は米国歴史建造物の指定を受けています。また、埠頭にはさまざまな海洋関係の建造物と展示があります。ごゆっくりご見学ください。



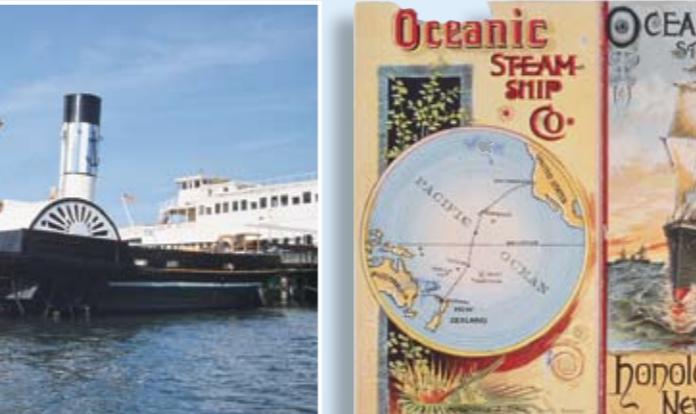
アルマ号：スカウ・スクーナー；59フィート。1891年、サンフランシスコで建造。一にて建造。



バルクルーサ号：横帆艤装船；256フィート。1886年、スコットランドのグラスゴーにて建造。



C.A.セイヤー号：3本マストのスクーナー；156フィート。1895年、カリフォルニア州フェアヘーベンにて建造。



エップレトン・ホール号：鋼鉄製タグボート；100.5フィート。1914年、英國、サウスシールドにて建造。

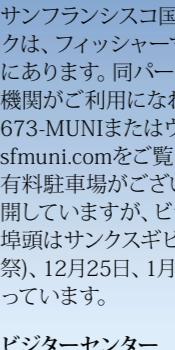


エップレトン・ホール号：鋼鉄製タグボート；100.5フィート。1914年、英國、サウスシールドにて建造。

図書館とコレクション



左上：サケを捕獲するためにスター・オブ・アラスカ号に乗船した漁師たち、1920年代。



右上：パーク内のリサーチ図書館。下：蒸気船のパンフレット、1880年代。

見学のプランニング

サンフランシスコ国立海洋歴史パークは、歴史的な蒸気船や帆船のほか、海洋関連の展示や実演などをご覧いただけます。バルクルーサ号の甲板の下に行って、この横帆艤装船が運搬した商業的物品について学んでください。夕方ボートのハーキュリーズ号では、初期の頃のエンジン音を聞くことができます。埠頭への入場は無料ですが、乗船には入場料が必要です。

詳細については下記まで
San Francisco Maritime National Historical Park
Building E, Fort Mason Center
San Francisco, CA 94123
415-447-5000
www.nps.gov/safr

USSパンパニート
45番埠頭に停泊中。サンフランシスコ国立海洋パーク協会が修復し、メンテナンスや管理を担当するこの第二次大戦の潜水艦は、太平洋で長距離巡航を行いました。毎日公開中。有料。



Printed Spring 2008.
Printed on recycled paper. Japanese version.

ビジャーセンターの展示：右・ファラロン諸島の灯台、および下・細工を施したクジラの歯。

SAN FRANCISCO BAY



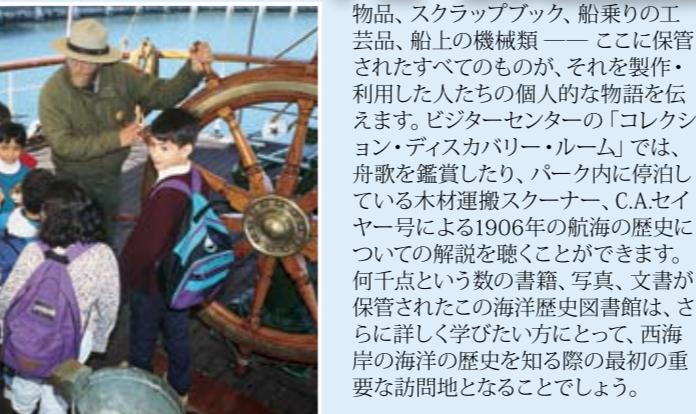
ユリーカ号：外輪フェリー；299.5フィート。当初1890年にカリフォルニア州ティップルコンにてユキア号という名称で建造。1922年、ユリーカ号として改裝。



ハーキュリーズ号：蒸気動力のタグボート；139フィート。1907年、ニュージャージー州カムデンにて建造。



ハイド・ストリート・ピアの東側に停泊した小型の船。



バルクルーサ号に乗船した児童たち。パークレンジャーがあらゆる年齢のビジャーセンターを対象に解説プログラムを実施。

物品、スクランプブック、船乗りの工芸品、船上の機械類——ここに保管されたすべてのものが、それを製作・利用した人たちの個人的な物語を伝えます。ビジャーセンターの「コレクション・ディスカバリー・ルーム」では、舟歌を鑑賞したり、パーク内に停泊している木材運搬スクーナー、C.A.セイヤー号による1906年の航海の歴史についての解説を聴くことができます。何千点という数の書籍、写真、文書が保管されたこの海洋歴史図書館は、さらに詳しく学びたい方にとって、西海岸の海洋の歴史を知る際の最初の重要な訪問地となることでしょう。

PHOTOGRAPHS NPS / TIM CAMPBELL AND STEVE DANFORD UNLESS OTHERWISE CREDITED.